

防災訓練に 参加しましょう

9/1(日)

実施

町と自主防災会協議会合同の防災訓練を「防災の日」の9月1日(日)に実施します。
東海地震は、過去のデータから、100～150年間隔で起きており、1854年の安政東海地震から150年近くの空白期間があるため、いつ起きても不思議ではないとされています。
地震の発生を止めることはできませんが、いざというときのための訓練をすることにより、被害を最小限に食い止めることができます。
訓練の参加を通して自分たちにできることを再確認し、組織による行動力の大きさを改めて見直す機会にしましょう。

タイムスケジュール

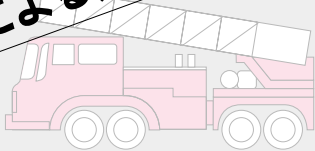
<p>6:30</p> <p>7:00</p> <p>7:30</p> <p>8:30</p> <p>9:30</p>	<p>自主防災会</p> <p>避難誘導訓練および警戒広報訓練など 各自主防災会災害対策本部設置 避難開始 町現地本部への情報伝達(訓練参加者数)</p> <p>各自主防災会災害対策本部の閉鎖(随時)訓練</p> <p>地域別訓練 初期消火訓練～バケツリレー・消火器による訓練 応急手当訓練～三角巾等による訓練 土のう積訓練～半円形に土のう積の訓練</p>	<p>町</p> <p>町災害対策本部の設置訓練 役場 職員非常参集訓練</p> <p>現地災害対策本部の設置訓練 笠松中学校・松枝小学校・下羽栗小学校</p> <p>避難訓練開始合図(サイレン吹鳴)～防災行政無線など 避難誘導・警戒広報訓練 職員による訓練</p> <p>公共施設の防災機器点検 防災資機材取扱訓練 避難訓練 放水訓練</p> <p>協力団体などによる訓練 炊きだし訓練 防災資機材取扱訓練</p> <p>(終了式)</p>
---	--	---

参加団体

- ・町議会
- ・羽島郡広域連合消防本部
- ・町婦人防火クラブ
- ・町社会福祉協議会
- ・羽島警察署
- ・町消防団
- ・町水防団
- ・町赤十字奉仕団

消防署

放火による火災を防ごう



平成十三年中に羽島郡内で発生した火災件数は三十三件で、そのうち放火および放火の疑いであるものは九件と全火災件数の四分の一以上を占め、出火原因別の第一位となっており、この傾向は今年も続いています。

今年五月から岐阜市、羽島市、羽島郡内にかけて放火と思われる火災が連続して発生しており、消防・警察そして地元消防団も夜間のパトロールを実施して放火防止対策に懸命です。

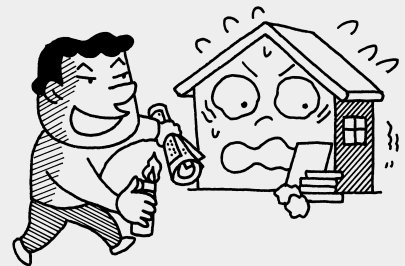
大切な生命・財産を放火魔の手から守るため、次のことに注意しましょう。

家のまわりや自由に入りにできるマンションなどの屋外階段、廊下には、古新聞や古雑誌など燃えやすいものを置かないようにしましょう。

空き家や物置などの戸締まりを確実にしましょう。

空き地などの枯れ草は、放置せず刈り取りましょう。

火をつける物がなければ放火されることはありません。そのためには、放火されない環境を作ることが大切です。もう一度、自宅のまわりを見直しましょう。



羽島郡広域連合

388・1195